

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	異文化コミュニケーションⅡ(CR)		(TCH117)
講義名（コード）	TCH_異文化コミュニケーションⅡ_D		(TCH117D)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	塩見 知恵子	時間数	30
成績評価教員	塩見 知恵子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力、人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で学生が異なる文化背景を持つ他者への理解力を高めるために、現代の社会課題に対して多様な視点から考えられるようになる。
全体の内容と概要	就職活動（面接・履歴書の作成等）や社会人として必要な日本語の表現力について学ぶ。実際に発表などを行い、実践的な力を養う。
授業時間外の学修	授業内容を復習する。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	これまで頑張ってきたことを具体的に説明できる	第4章・第1課 自己分析 ワーク：「個人史」をつくる / ケーススタディ：自己分析 / 日本語学習のページ
2	志望動機と自己PRのポイントがわかる	第4章・第2課 志望動機と自己PRのポイント
3	志望動機を書くことができる	ワーク：志望動機を書こう ケーススタディ：志望動機 / 日本語学習のページ
4	自己PRを書くことができる	第4章・第3課 自己PR ワーク：自己PRを書こう / ケーススタディ：自己PR / 日本語学習のページ
5	具体的な例を挙げて簡潔に自己PRできる	発表①
6	具体的な例を挙げて簡潔に自己PRできる	発表②
7	面接の流れやマナーがわかる	第5章・第1課 面接
8	採用面接を受けることができる	ワーク：想定問答 ケーススタディ：チームワーク・面接官とのコミュニケーション / 日本語学習のページ
9	採用面接を受けることができる	面接の練習 / ロールプレイ ①
10	採用面接を受けることができる	面接の練習 / ロールプレイ ②
11	内定の意味や内定後のマナーがわかる	第5章・第2課 内定後のマナー
12	内定後に適切な対応ができる	ケーススタディ：内定を辞退した会社①② 日本語学習のページ
13	秋学期の復習	復習 期末試験対策
14	期末試験	期末試験
15	期末試験解説	期末試験解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『就職活動テキスト』
参考文献・資料等	学生手帳
備考	